

## 第2回門真市廃棄物処理業務委託事業者選定委員会議事録

会議の名称	令和3年度第2回廃棄物処理業務委託事業者選定委員会
開催日時	令和3(2021)年6月8日(火)午後3時から5時20分まで
開催場所	門真市立リサイクルプラザ3階会議室(門真市深田町19番5号) (CiscoWebex (Web会議システム) を活用したオンライン会議)
出席者	<p>【委員会委員（出席人数5人/5人中）】</p> <p>委員長 水谷 聰 副委員長 藤田 香</p> <p>委員 安田 浩章 委員 大矢 宏幸</p> <p>委員 宮井 勝久</p> <p>【事務局】</p> <p>環境水道部次長 廣田 真紀 環境政策課長 森本 聰</p> <p>環境政策課長補佐 松岡 祐樹 環境政策課副参事 上野 安宏</p> <p>環境政策課主査 樋口 翼</p>
議題 (内容)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 審査スケジュール及び採点方法等について</li> <li>2. プрезЕНтーション審査</li> <li>3. 書類審査及び価格審査結果の報告</li> <li>4. 受注候補者の選定</li> <li>5. その他について</li> </ol>
傍聴定員	一(非公開のため)
担当部署 (事務局)	(担当課名)環境水道部環境政策課 (電話)06-6909-4129(直通)

松岡(事務局)	<p>定刻となりましたので、ただいまより、第2回門真市廃棄物処理業務委託事業者選定委員会を開催させていただきます。</p> <p>本日の議事進行を務めさせていただきます、環境水道部環境政策課長補佐の松岡でございます。よろしくお願ひします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。本日も前回に引き続きウェブ会議システムを活用したオンライン開催とさせていただいております。</p> <p>本委員会は、廃棄物処理業務委託事業者の選定にあたり、適正かつ公平な事業者選定を行うことを目的として開催するものであり、ごみ焼却施設基幹的設備改良工事発注支援等業務委託に係る受注候補者を引き続きプロポーザル方式で選定するものでございます。</p> <p>なお、本日はプレゼンテーション内容をご確認いただいた後、参加資格者への質疑及び採点等をお願いしたいと考えております。</p> <p>それでは、議事に先立ちまして、本日お配りさせていただいている資料の確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず1つ目、議事次第でございます。</p> <p>次に2つ目、右肩に資料1と記載しております、委員名簿でございます。</p> <p>次に3つ目、右肩に資料2と記載しております、審査スケジュールでございます。</p> <p>次に4つ目、右肩に資料3と記載しております、提案書でございます。</p> <p>次に5つ目、右肩に資料4と記載しております、前回の第1回選定委員会でご確認いただきました評価基準及び評価基準の別紙1及び2でございます。</p> <p>以上の5種類ですが、お手元に資料はございますか。</p> <p>それでは、早速議事次第に従い進行させていただきます。</p> <p>前回の第1回事業者選定委員会において、安田委員がご欠席でありましたので、改めて委員の皆様を紹介させていただきたいと思います。</p>
---------	--

	<p>ご紹介にあたりましては、委員名簿順とさせていただきますのでよろしくお願ひします。</p> <p>まず、本委員会の委員長をお願いしております、大阪市立大学大学院工学研究科 准教授の水谷 聰 様でございます。</p>
水谷委員長	水谷です。よろしくお願ひいたします。
松岡(事務局)	続きまして、本委員会の副委員長をお願いしております、近畿大学総合社会学部 教授の藤田 香 様でございます。
藤田副委員長	こんにちは。藤田と申します。よろしくお願ひいたします。
松岡(事務局)	続きまして、さくら法律事務所 弁護士の安田 浩章 様でございます。
安田委員	安田と申します。初めまして。よろしくお願ひいたします。
松岡(事務局)	続きまして、本市職員の委員2名を紹介させていただきます。 環境水道部長の大矢でございます。
大矢委員	大矢でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
松岡(事務局)	続きまして、環境水道部技監の宮井でございます。
宮井委員	宮井でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
松岡(事務局)	皆様、ありがとうございました。
	次に、委員会の成立についてご報告させていただきます。本日は現時点で、委員5名中5名の方にご出席をいただいておりますので、門真市附属機関に関する条例施行規則第5条第2項の規定により、本委員会が有効に成立していることをご報告いたします。
	それでは、以後の進行を水谷委員長にお願いしたいと思います。
水谷委員長	水谷委員長、よろしくお願ひします。
	承知いたしました。大事なプレゼンテーションと審査ですので、皆様よろしくお願ひいたします。
	それでは、議事次第に従いまして、本日の審査スケジュールと採点方法等について、事務局よりご説明をお願いいたします。
上野(事務局)	事務局の上野でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
	それでは、私から審査スケジュール、採点方法についてご説明させていただきます。

お手元の資料2本日の審査スケジュールをご覧ください。3つ目の予定表からご説明します。

現在進行中の15時から15時25分までの約25分間で、開会、委員の紹介、委員会の成立について、審査スケジュール及び採点方法等の説明を行います。

次に、15時25分から16時までの約35分間で二次審査であるプレゼンテーション審査としまして、6月2日に録画しました参加資格者のプレゼンテーション内容をご確認いただいた後、質疑に向けての準備時間を予定しております。

なお、今回の募集にあたり参加した事業者数は1者であり、一次審査の結果、その1者については参加資格を有しておりました。この後、質疑に参加いただく事業者につきましては、企業名を伏せた状態で審査を行っていただくため、仮名として「くすのき」とさせていただきます。

16時から16時20分までの約20分間で委員による参加資格者「くすのき」への質疑。

16時20分から17時までの約40分間でプレゼンテーションの採点及び事務局での集計。

17時から17時10分までの約10分間で事務局から採点結果の報告と書類審査及び価格審査結果のご報告をさせていただきます。

その後、17時10分から17時15分までの約5分間で受注候補者を選定していただきます。

最後に、17時15分から17時20分までの約5分間でその他としまして議事録の作成方法や、第3回事業者選定委員会の開催日程について確認をさせていただく予定となっております。

なお、本日の選定委員会終了時間は、17時20分頃を予定しており、長時間となりますが、何卒よろしくお願ひいたします。

続いて、採点方法についてありますが、まず、資料4評価基準の別紙2をご覧ください。こちらが前回の選定委員会においてご審議いただいた内容となっておりますが、採点にあたり今一度ご確認

いただきたいと思います。委員の皆様にご採点いただく二次審査のプレゼンテーションについては、下段の価格審査を除く項目となっております。

まず、1つ目の評価項目としては、テーマ①本業務の実施スケジュール及び業務実施体制とし、評価の着眼点としましては、業務を効率的かつ効果的に実施できるスケジュールであるか、提案された内容に対し、必要かつ十分な実施体制であるかの2点について評価をお願いしたいと思っております。

次に、2つ目の評価項目としては、テーマ②本市が安定的かつ効率的な事業運営を担保するための課題と対応策とし、評価の着眼点としましては、課題の抽出は適切か、課題解決のための対応策は有効な内容かの2点について評価をお願いしたいと思っております。

次に、3つ目の評価項目としては、テーマ③本市が基幹的設備改良工事と包括管理運営業務を一括して発注するための課題と対応策とし、評価の着眼点としましては、課題の抽出は適切か、課題解決のための対応策は有効な内容かの2点について評価をお願いしたいと思っております。

次に、4つ目の評価項目としては、テーマ④本市が入札の競争性を高めるための課題と対応策とし、評価の着眼点としましては、課題の抽出は適切か、課題解決のための対応策は有効な内容かの2点について評価をお願いしたいと思っております。

最後に、5つ目の評価項目としては、プレゼンテーション全体の評価とし、評価の着眼点としましては、業務内容や課題を適切に理解しているか、適切な説明を行うことのできるコミュニケーション能力を有しているかの2点について評価をお願いしたいと思っております。

なお、配点につきましては、それぞれ5点満点としており、評価の判断基準としては、高い、やや高い、普通、やや低い、低いまでの5段階で、それぞれ5点～1点の間で採点いただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

	また、採点にあたっては、メールでお送りしております資料4の評価基準のデータをご活用いただきたいと思っており、採点が終わりましたら、お手数をおかけしますが、データを事務局までメールしていただけますようお願ひいたします。長くなりましたが、審査スケジュール、採点方法等に関する説明は以上でございます。よろしくお願ひいたします。
水谷委員長	ありがとうございました。ただいまのご説明について、確認しておきたい事項ですとか、ご質問等はありませんか。  (なしの声あり)
水谷委員長	ありがとうございます。評価基準のエクセルファイルは、黄色いセルをチェックして点数を選択すると採点が反映されるということでおろしいですか。
上野(事務局)	はい。反映できるように設定しておりますので、選択していただけたらと思います。
水谷委員長	はい、わかりました。これを保存してメールでお送りすることですね。
上野(事務局)	はい。よろしくお願ひします。
水谷委員長	委員の皆様、よろしいでしょうか。それでは、審査スケジュールと採点方法等については以上とします。
上野(事務局)	引き続き、プレゼンテーション審査に進んでもよろしいですか。
水谷委員長	はい、引き続きお願ひできたらと思います。
松岡(事務局)	それでは、少し早いですが、プレゼンテーション審査を早速始めたいと思います。録画いただいたものを確認いたしますので、参加資格者「くすのき」によるプレゼンテーションの再生をお願いします。
くすのき	それでは、再生させていただきます。説明時間としましては約17分でございますので、よろしくお願ひします。
	それでは、わが社からのプレゼンテーションを始めさせていただきたいと思います。
	まず、私が主任技術者予定の吉井と申します。こちらが主たる担

当技術者の枝澤です。こちらが担当技術者で特に財務関係の担当をしております、山川と申します。

それでは、説明の方に入らせていただきます。よろしくお願ひいたします。項目順に進めさせていただきます。

まず、業務の実施方針といたしまして、わが社ではこの5つを挙げさせていただいております。

1番目が、廃棄物処理事業の確実な実施と期待される効果の獲得の実現。

2番目に、基幹的設備改良事業のアドバイザリーの業務経験を蓄積していますので、その辺を活かしていきたいと。

3番目に、的確かつ迅速なアドバイス可能な、万全な体制をしいていると。

4番目に、貴市の財政負担の軽減を目指して計画していきますと。

5番目に、本事業の事業特性を十分理解して進めていきますよということになります。

先程の方針のご説明になるのですが、ポイントだけ説明させていただいております。廃棄物処理施設は、欠くことのできない重要な施設ですので、事業が円滑にかつ確実にいくように進めることができ大事だという風に考えております。

本施設は実質5号炉の改修のときには4号炉と併せて進めていくわけですが、実質1施設という風な捉え方で処理が滞ることのないよう進めていきたいと。あとこちらですけれども、やはりPFI的な事業であるDBOであるとかR0事業であるとかというところを踏まえてVFMが最大化されるように実現していきたいと思っています。

弊社は、他都市でも同じような基幹改良と長期包括運営委託を併せ持った業務の経験もございますので、その辺のノウハウを最大限活かしてご提供できればと思っております。スタッフについても、当社では技術部門の他に、契約とかVFMの関係に精通した財務法務の関係の担当者もおりますので、その体制をしいた中でできるだけ

専門性を發揮して進められるよう体制を考えており、昨今の自治体の財政事情を考えたときにやはり経済的な負担というのは小さくしていかないといけないと、そういうところも視点に入れながら進めていきたいと。

最後に、当然門真市様の事業の状況を把握して進めていきたいと考えておりますし、スケジュールですけれども、ちょっとこれは後ろの方から考えておりまして、まず令和5年度に工事と運営委託を考えていくというときにポイントとなるのが、まず引継ぎ期間が必要であると。今までの委託会社から新しい事業者に移るわけで、そこら辺の運転指導とか引継ぎ業務というのが発生しますので、ここを3か月程度は見ておく必要があるかなと。それで考えますと、本契約は12月頃くらいがちょうどいいのかなと思っておりますけれども、さらにその3か月前の期間というのは契約調整期間というのがありますし、優先交渉権者になったところとその辺を調整していくというのが3か月くらい。となりますと、その入札公告を大体年度初め。その前に債務負担行為というものが入ってくるのですが、半年程度で入札の選定期間というのを設定しないといけないと。これが非常にタイトな時間になっていまして、ここはすごくシビアに考えながら進めていく方が良いかなと。そうしますと、その入札公告の前にある程度市の考え方を示す実施方針というのを出していく必要があるわけですが、そうすると大体3か月くらい。本當は半年までできれば理想なのですが、3か月程度は早めに市の方針というのを示して公表していく必要があるかなと。そうなりますと、逆にその前の基本計画とか見積仕様書等を纏める期間、見積もりを徴収する期間というのはかなり前倒しで進めていかないとこの事業っていうのは難しいかなという風に捉えております。

体制としましては、私が主任技術者予定としておりまして、先程申し上げた主に技術的な部分はこちらの体制で、枝澤、長谷川という者がメインの担当となっておりまして、長谷川は当社で一番この基幹改良に精通した技術者ですので、入れていくような形。

こちらは財務と法務の関係である山川と小松、八藤を入れておりますけれども、その分野分けをした形で上手く専門性を発揮していきたいと思っています。

実施スケジュールについては、先程申し上げた中で、やはり議会の議決等を踏まえてポイントを設定しながらスケジューリングを行っていく必要があるということで、先程説明しましたスケジュールを構成しました。

実施体制につきましても、我々は分野ごとに専門技術者を配置しておりますので、そこら辺を上手く活かして進めていきたいという風に考えております。

次に、本市が安定的かつ効率的な事業運営を担保するための課題と対応策ということで、今回の課題認識の一つとして評価内容っていうポイントを作らせてもらったのですが、スケジュールが限られている中っていうのは先程申し上げたとおりですが、効率的な入札を行っていく必要があるっていうことを注意しないといけないと。今回の対応策として、まず基幹改良なのであくまで既設の大規模改修の位置付けであるという風に考えると、新設に比べると応募者によつて例えば大きく目新しい提案が出てくるわけではなくて、そうするとあんまり提案の幅っていうのは大きくならないと。そうすると逆に発注者側からするとできるだけ堅実での確なところを選んでポイントを絞って評価をしていく方が重要なのではないかなど。そういうことによって、評価項目を絞って提案者がここを重点的にがんばるというところを分かりやすくしてお互いそこで競合していくだくということが望ましいのではないかなどと考えています。

VE提案の積極導入についてっていうことですが、先程の経済性の観点で言うとやっぱりできるだけ過大的なコストをかけないということが大切ということで、今回あくまで大規模な改修と長期包括ですので、その観点でどうしたら過剰な仕様を入れずに施設の要求水準っていうのを作成していくかっていうのがポイントかなと。要は、堅実な施設をどう作るかっていうところが大切なと考えてい

まして、その為には入札段階ではちょっと遅いので見積もり段階で過剰なものがないか、応募者側からして無駄なものがないかというところをポイントに置いて聞き取りをしていくってことが良いかなと考えております。これは先程と連動するのですが、対話型の質疑回答ということで、通常であれば文書で質疑応答という形でやっていくわけですけれども、なかなかそこだとメーカーさん側、要は応募者側からの意見っていうのと市側の都合っていうのが上手く意思疎通が円滑にいかない部分がありますので、直接面談する形式で、じゃあ本当に事業者側としてやるべき事と考えていることと、市側としてやってほしいことっていうところの折り合いというのを事前にある程度作って、本当に必要な要求水準っていうのは何かっていうことを整理していく必要があると考えております。

本市が基幹的設備改良工事と包括管理運営業務を一括して発注するための課題と対応策ということで、先程他の所でも同じような業務をやっているということで、様々他にもありますのでそこら辺のノウハウを提供していきたいということですね。今回基幹改良と長期包括の組み合わせですので、下2つがターゲットになってくると思うのですが、R0方式とDB0方式というところから選んでいくという話になってくるかなと思っています。対応策として、先程のR0方式とPFIも含めて幅広く検討していきますよと。下のところとしては従来方式と、②、③のR0方式、DB0方式がターゲットになるかなという風に今は考えておりまして、この辺から早期に事業方式の決定を行っていきたいという風に考えています。意向調査についても、事業費算定についてはちょっと出てくる時期が時間がかかるので、他事例等を踏まえて早期に事業方式の選定を行っていくような段取りで考えたいと思っております。事業費調査で得られた結果については予定価格の設定とか長期債務負担行為の基礎資料としていくという風な活用の仕方をしていきます。例えば、DB0方式ですが、これが法的な位置付けが明確でないところがありまして、我々としてはPFIに準じた形でやるのが一番公正な入札として認められ

やすいのかなという風に考えています。そういうことで、基本的にはDBO方式となった場合であってもPFIに準じた形で進めるのが妥当かなと思っています。先程のDBO方式にする場合は、契約については全体の概要を決める基本契約。その下に工事請負契約と運営委託契約という形で、要は工事とその委託契約をそれぞれ別に結ぶ形で三本一体となるような形の作成の仕方をしています。あと注意点としては、再委託の禁止にあたる部分が発生するようであれば、例えば直接市と運搬処分会社との直接契約を結ぶ等で、そこら辺の再委託の問題も起きないような形の整理の仕方っていうのも考えていくかなと。これはご要望に応じてということになってきます。

地元企業の活用についてですが、実際参入と要望の程度っていうのは変わっていきますけれども、総合評価の中に地元採用の程度について評価する項目を入れて、ある程度特に議会からの要望っていうのが強い場合がありますので、そういうところも盛り込んでいたらどうかという風に考えています。

本市が入札の競争性を高めるための課題と対応策という中で、こういう事業、新設であってもそうなのですが、特に基幹改良の場合なかなか応札業者がたくさんきてくれないと。というのは、既設の業者にどうしてもノウハウを握られているっていう形でなかなか他の所が入ろうとしてもコストがかかったり手間がかかったりノウハウ的に対応できないというような問題が起こることがあります。そういうことにちょっとどういう風に対応しているかなって課題と対策を次のページ以降に書いておりまして、これは比較的一般的にやられていることで、要は既設メーカーしか部品供給してもらえないような部品っていうのがやっぱりありますし、それを我々特定部品って言っておりまして、たとえ既設メーカー以外の業者が入ったとしてもその辺が適切に供給されるように、要は他の事業者が入ってちゃんと担保されるような形っていう協定をきちんと結んでおく必要があります。本施設に関する情報の積極的な提供や見学会の開催ということで、やはり既設メーカー以外のメーカーというのは施

設の内容がわからないという所で現場をよく見ていただくということ、図面等、特に設計図書等が既設メーカーのノウハウの開示の拒否という部分と引っかかる部分がありまして、そこの調整っていうのが大切になってきますが、できるだけ既設メーカー以外の所に都合が良い情報公開というのを努力していく必要があるかなと。ただ、断固として既設メーカーからこれはノウハウの漏洩ということで開示できないっていう場合はありますけれども、そこは可能な限り調整していくことが大切なと思っています。事業参加の負担軽減と提案報奨金の設定ということで、先程の既設メーカー以外の所をどう読み込むかというところで、これは1位のところには報奨金を払うわけではないのですが2位以下についてどうするかという話です。やはり提案書を作成するにも過大なコストがかかりますので、せめてたとえ失注してもそのコストが無駄になったということができるだけないような形の制度設計をしてあげる方が望ましいのかなということを考えています、これは是非取り入れていただければなという風に考えているところです。これは横浜市の事例。まあ横浜市以外にも事例はあります、1位には特にはございませんが、事業規模以上で、例えば25億以上であれば300万とか、程度に応じてその報奨金を設定していくという部分があります。これはルール化されている部分ですね。情報管理として、やはり1者になる場合、仮に2者以上きたとしても通常であれば質疑回答を文書で返す場合はできるだけ公平な情報を分配みたいなことを念頭に置いて、全者に同じ質疑回答を流すというのが通常な例になっています。ただ、それをやってしまうと仮に1者であった場合に1者しか応募がないということが分かってしまうので、そこら辺が市の内部規程のところで可能であれば、例えば少なくとも見積もり段階においては各1者ずつに回答しておくとかですね。現場説明会、質問会等その他施設見学会ですね、他のメーカーが入ってきてるっていう風な情報が一切渡らないように上手く気を付けながらやるっていうことも必要なのかなと。1者になってしまえば提案もそれほど期

	待できなないですし、コストメリットもほとんど働かないみたいなことに陥りますので、そこら辺を上手く調整できたらなと思っております。
水谷委員長	以上で説明を終わります。ありがとうございました。 ありがとうございました。各委員の皆様、今の音声は聞こえましたでしょうか。
	(問題なしとの声あり)
水谷委員長	大丈夫だったみたいですね。それでは、ただいまのプレゼンテーションに関して、この後、直接質疑を行うことになりますが、その前に何か確認しておきたいことや質問等はございませんか。
安田委員	すいません、委員長。安田です。
水谷委員長	お願いいいたします。
安田委員	門真市さんにお尋ねしたいのですが、テーマ③事業方式についての部分において、PFI方式、R0方式、DB0方式っていうのを挙げられていました、特に今の段階では何も決まっていないという前提で良いのでしょうか。
上野(事務局)	はい。今の段階ではどの事業方式を採用するのか、特に決まっておりません。
安田委員	どれになるのか、どれが一番良いのかも含めて事業者さんの方で検討していただくという前提でよろしいですか。
上野(事務局)	はい。ご提案いただいた中で、門真市として採用可能な方法と組み合わせながら検討を進めていきたいと思います。
安田委員	わかりました。ありがとうございます。
水谷委員長	すいません、私の方から一つ。事業者からいくつかご提案いただいたとしても、それを必ずしも採用することではなくて、委員会としては事業者が提案している内容についての審査を行い、今後、報奨金制度等も含め提案されたものを採用するのかについては、最終的に事業者さんと門真市さんが検討を行うという理解でよろしいでしょうか。
上野(事務局)	はい。

水谷委員長	わかりました。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
安田委員	すいません、もう一点だけよろしいですか。スケジュールの部分ですが、事業者は議決の時期を念頭におきながらスケジュールを作成されているみたいですが、スケジュール感としては大体こんな感じでよろしいのでしょうか。
上野(事務局)	はい。概ねこのような形になると思います。
安田委員	わかりました。ありがとうございます。
水谷委員長	質疑時間としては、20分程度とあるのですか。
上野(事務局)	はい。
水谷委員長	もし質問が無ければ、早めに打ち切っても問題ありませんか。
上野(事務局)	はい。早く終わっていただいても構いません。
水谷委員長	わかりました。委員の皆様にはできる限り積極的にご質問いただきたいと思いますが、もしご質問が無くなればその辺りで終了します。そういう意味でも、何かちょっと気になる部分があれば早めに手を挙げるなり意思表示していただくようにお願いいたします。
	そうしましたら、ここで休憩をとるのでしょうか。
松岡(事務局)	はい。それでは、ただいまから参加資格者の質疑応答の準備をさせていただきますので、10分程度お時間いただきたいと思います。
	委員の皆様には、その間申し訳ございませんが、休憩いただければと思っておりまして、ただいまの時刻から10分程度ということで、再開は15時50分を予定しております。
水谷委員長	わかりました。15時50分再開ということですので、その少し前に戻ってきていただくということで、よろしくお願いします。
	<b>【事務局質疑準備・委員休憩・参加資格者「くすのき」ログイン】</b>
水谷委員長	それでは時間となりましたので、参加資格者「くすのき」様への質疑を行いたいと思います。委員の方々、ご意見・ご質問等をお願いいたします。
宮井委員	委員長。私の方から1点質問させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
水谷委員長	お願ひします。

宮井委員	<p>業務の実施体制についてちょっとわからない部分がございますので教えていただきたいのですが、照査技術者の西川様ですかね。様式6を拝見させていただきましたら、業務経歴において類似のものを実施した経験が記載されておりません。照査技術者というのは、大変重要な業務と思っていますが、照査技術者の業務を行うあたり、必要な技術と経験があるのかどうか。失礼ながら、どのような業務を担当されてきたのか教えていただきたいというのが1点目です。</p> <p>もう1点は、業務実施体制において主たる担当技術者の方が2名いらっしゃいます。その他にも、担当技術者の方がたくさん配置されるようですが、何か業務分担みたいなものを考えられていらっしゃるのでしたらその辺を教えていただきたいと思います。</p>
くすのき	<p>それでは、先程の2点の質問について、主任技術者配置予定の吉井からお答えさせていただきます。</p> <p>まず、西川の経歴ですが、西川も50代半ばのベテラン技術者になっており、これまでも基本的にはアドバイザリー等の照査業務に携わっているのですが、通常、照査の実績は業務経歴として認められていません。ここ最近でいうと、ほぼ照査が主たる業務みたいになっているのですが、業務経歴として認められていないため、今回は記載することができませんでした。照査技術者の経歴としては、ごみ焼却施設の中間処理や最終処分場の照査技術者なども行っております。</p> <p>2つ目の体制についてですが、当社は、まず基幹改良の技術的な部分と、法務とか財務の部分を分けているのですが、主たる担当技術者、まず枝澤の業務内容としましては、例えば精密機能検査とか長寿命化総合計画、あと基幹的設備改良工事の基本計画ですね。この辺りについて全体的な管理を行い、その下に井手とか道浦っていう部下の担当技術者を配置するっていうイメージであります。あと民間事業者の選定支援と民間事業者の導入可能性調査については、財務の山川や八藤が担当し、あと契約関係も入ってきますので弁護</p>

	<p>士との調整等を小松が行うという風な分担であります。長谷川については、基幹改良DBOの経験が一番豊富な人間であるため、全体的な進め方や進行管理について、私の下で行ってもらうという風なことを考えています。あと、新保はプラント関係とか工事関係にすごく精通しているため、枝澤や井手を専門技術の観点からサポートと運転管理にも精通しておりますので、長寿命化計画や要求水準書等の作成をサポートするような、そういった体制を考えております。</p> <p>以上です。</p>
宮井委員	わかりました、ありがとうございます。
水谷委員長	それでは、他にご質問・ご意見等いかがでしょうか。
藤田副委員長	委員長。2点お考えをお聞かせいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
水谷委員長	はい、どうぞ。
藤田副委員長	<p>プレゼンテーションに関する件について2点お伺いします。</p> <p>1目点は、テーマ4 本市が入札の競争性を高めるための課題と対応策の3番目に事業参加の負担軽減と提案報奨金の設定ということで、インセンティブ付与についてのご提案があったかと思います。具体的には、横浜市さんの報奨金制度についてご紹介いただいたかと思うのですが、門真市とは随分同じ市でも規模も財政も何もかも違っていて、ちょっと対象となるような事業というのも事業規模で報奨金額が入っておりますが、実現可能性を考えた場合には、報奨金支払いのための財政負担を議会にどう認めていただくのか、適正な水準の報奨額の設定っていうのをどのように考えるのかなど、イメージとしてインセンティブ付与はわかりやすいと思うのですが、実行していくうえでは幾つかくぐらないといけない点があるかと思います。この辺りについて、何か具体的にご検討いただいているものがあるのかについて、まずお伺いしたいと思います。</p> <p>2点目ですが、テーマ3の3番目に、地元企業の活用についてご提案いただいている箇所がございます。今後、どのような発注方式を採用するのかによっても変わるかと思いますが、地域経済の活性</p>

	<p>化を設定する方法を想定されているとのことでしたが、地元企業を活用することが地域経済の活性化に直結するかという言い切れない部分もあるのではないかという印象を持っております。具体的に地元企業といつてもかなり幅広な話でございますし、また競争性を高めるっていうところにも関連しているところかと思います。地域経済の活性化という非常に大きな話で設定することに、ちょっと混乱が出てこないのかなと、個人的にはその辺りの部分をもう少し具体的にお考えがあればお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>以上 2 点、現段階の内容で結構ですので、お教えいただきたいと思いますので、よろしくお願いいいたします。</p>
くすのき	<p>まず一つ目の報奨金制度についてであります。通常のごみ処理事業において報奨金制度を採用している事例は多くありませんが、我々が気にしているのは入札参加事業者の数が少なくなってしまう点です。基幹改良工事が含まれる中で、競争性が働くか働くかないかっていうのは事業費に大きく影響する点をすごく懸念しており、それを少しでも払拭できる材料とならないかとの思いからこのような提案をさせていただきました。適正な報奨金額というのは、すごく悩ましいのですが、正直言うと横浜市さんが示されている数百万はちょっと少ないかと思っています。色々メーカーさんにも話を聞いたりするのですが、提案書を本気で作成するとなると、実際は数千万単位でかかるしてしまうので、本来なら 1 千万単位の金額を出せるのがベストであると思いますが、議会の方へどのように説明を行うのか、またご納得いただけるかとなると確かにすごく難しい面がありますが、市の上層部や議会の方にご納得いただける可能性が少しでもあるのであれば、そういう制度を盛り込んでいかがかと、まだ本当に漠然としたご提案の段階ではありますが、思いはそういうところでございます。</p> <p>次に、2 つ目の地元企業を活用して地域経済の活性化についてのお話ですが、実際募集を行う際には、地元企業をできる限り集め、参加意思を確認していきます。今回は、ごみ処理施設のプラント機</p>

	<p>械がメインとなりますので、実際のところプラント機械を導入している企業はほとんどなく、ただ市内の営業所を通すだけであり、地元企業の採用は不可能な条件ではないかとなってきます。このことから、どこまで参加下請けとして募集できるのか、門真市内の企業にできるものなのかを見積りの段階でヒアリングをかけ、総合評価の評価項目としてどれくらいの企業が参加可能なのか、またその実態がどうなのか、本当に実効性が強くあるのかというところを確認する必要があると感じております。</p> <p>回答は以上です。</p>
藤田副委員長	ありがとうございました。
水谷委員長	他に何かご意見、質問等はいかがでしょうか。
安田委員	すいません、委員長。よろしいですか。
水谷委員長	お願いします。
安田委員	事業方式について、お伺いしたいのですけれども、今回R0方式とDB0方式が想定されるということで、早急に選択を行う必要があると記載されていまして、選択のタイミングとしては、このスケジュールでいきますと、今年の11月頃までにまず選択する必要があるのかどうかということと、それからもう一つが、DB0方式とR0方式を比較すると、DB0方式の方が有利との主旨が記載されていると思うのですが、どうしてDB0方式の方が有利となるのか、今わかる範囲でご説明いただければと思い、ご質問させていただきます。
くすのき	我々は、ごみ処理事業に関するアドバイザリー業務を長年行ってきたわけですが、その中で参加意向の市場調査を実施しており、実際多くのプラントメーカーさんのご意見を伺ってきました。ご意見の中では、PFI方式、DB0方式が出始めた当初に比べ、メーカーさんも色々な方式について経験をされた結果、PFI方式は正直あまりやりたくないというご意見をもっておられます。実際、資金調達に関しても、起債する方が、金利が有利な面もあり、あまり民間資金調達のメリットが民間事業者にしても公共側からしてもあまり見えてこないっていうのがあります。ただ、あくまで経験的なものなの

	<p>で、実際の計算では多少変わるかもしれません、R0方式はあくまでPFI方式の1つなので、大多数DBO方式の方が有利という結果が出ております。また、民間事業者が銀行から資金調達するかというと、できるだけやめてほしいという結果が出てくるのをある程度予想しており、実際に調査すると多少結果は変わってくるかもしれません、大筋としては我々の予想として、ある程度そこを念頭に置いて物事を進めてもいいのかと考えております。状況によっては、方式を入れ替えるってことも有り得るかもしれませんが、DBO方式とPFI方式は、ほぼ同じような進め方をしますので、そういう意味ではどちらでも対応しますが、経験的な部分で、DBO方式の方が現時点では有利でないかと思っています。</p> <p>次に時期についてですが、今回の工事自体は令和5年度の計画であるものの、運転業務の引継ぎであるとか、契約の調整などを考慮すると、落札者の決定は、来年度の秋ぐらいには決めておかないとちょっと間に合わないのではないかと思っております。そこから、逆算して入札のスケジュールを考えていくと、今年の冬ぐらいには、総合評価の審査部分における委員会を始めていかないと、その後が非常に厳しいと思います。我々が設定した総合評価の期間は、短縮して作成しており、本来ならもっと十分検討を行ってから進めたいのですが、門真市のごみ処理事情を考えると、そこもなかなか困難であると考えていることから、現時点では11月頃の設定とさせていただいております。</p> <p>以上です。</p>
安田委員	わかりました。ありがとうございました。
水谷委員長	他にいかがでしょうか。
大矢委員	よろしいでしょうか
水谷委員長	お願ひします。
大矢委員	2点お尋ねします。テーマ3で示されております、御社が既存廃棄物処理施設への基幹的設備改良工事等々を実施しておられる倉敷市での事業について、実施体制調書にそれぞれの経歴書を付けられ

	<p>ておられます、その中に、倉敷西部クリーンセンター整備運営事業者選定支援業務委託とあるのですが、これらは同じ事業であるのかということと、もし違うのであれば、倉敷市水島清掃工場の業務に従事された方が今回の配置予定技術者の中にいらっしゃるのかどうかをお尋ねします。</p>
くすのき	<p>実施体制調書の中に記載はしていなかったのですが、この水島清掃工場や鈴鹿市の事業については、主たる担当技術者を挙げております。具体的には、長谷川が担当しており、多数業務実績があったため、記載しておりませんでした。また、山川が入札の支援で従事しており、この二人を今回従事させる形で体制を組んでおります。記載の仕方については、不親切であったと反省しております。</p> <p>以上です。</p>
大矢委員	<p>ありがとうございます。あともう1点すみません、これまでに業務として携わられてきた中で、いわゆるVFM、金銭的な効果等々で何かこの事業で実績というか、何か効果をお示しいただけるようなものがあるのかどうか。倉敷でありますとか鈴鹿とか川内等々で、何かこのような、携わられてこられた事業の中でのVFMでこういう効果がありましたというような何かお示しいただけるようなものがあるのかどうか。金銭的になかなか示しにくいということであれば、そういうものがあるのかと思うのですが、というご質問です。</p>
くすのき	<p>さすがに内部資料をお出しすることはできませんが、公表している範囲であれば、実際のVFM算定結果をお示しすることはできます。ほとんどの場合は、DBO事業やPFI事業として選定した理由を公に示す必要がありますので、どの程度の効果があったのかについては、我々の持っている業務または一般的に他社さんが実施したものの中から、情報としてお出しすることは可能です。</p> <p>以上です。</p>
大矢委員 水谷委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは私から1つ。感覚的なお話になるかもしれません、事例として倉敷や鈴鹿などをご教示いただきましたけれども、当初想</p>

	<p>定していたものに比べて上手くいかなかった事例がなかつたのかについて教えていただきたいと思います。また、他市と比べて今回の門真市の事例、特に状況的に違うところがあつて何か考えていることがあれば併せて教えていただきたいと思います。</p>
くすのき	<p>基幹改良工事の特徴としましては、やはり新設と違つて施設をある程度上手く活かしながら、逆に徹しないといけないというところで工程管理とごみ処理の管理という部分がすごくシビアになるっていうところがあります。基幹改良工事を行つてゐる中で、実際想定内のごみ量が入つてくれれば良いのですが、ごみが当初の予定よりも多かつた場合とか、思つてゐたより工事が長引いたときがあり、上手くいかなかつたというところまではないのですが、実際工程がある中、どう対応していくのかについて、内部的にちょっと問題となつたところがあります。今回の場合であれば、5号炉を改修していくことになるのですが、他都市との連携がどのようになつてゐるのかが気になつております、その工程管理をどのようにするのかが重要になってくると思つています。</p> <p>回答は以上となります。</p>
水谷委員長	<p>わかりました。ありがとうございました。他の委員の皆様、ご質問・ご意見等いかがでしょうか。せっかくの機会ですので何かあれば是非と思います。</p>
宮井委員	<p>委員長。よろしいでしょうか。</p>
水谷委員長	<p>お願いします。</p>
宮井委員	<p>テーマ2でご提案をいたしております、VE提案の積極的導入というところなのですが、VEはバリューエンジニアリングのことじゃないかと思いますが、VE提案自体はどういうものなのか。それから、御社としてどのようにVE提案を行おうとしているのか。その辺を教えていただきたいと思います。</p>
くすのき	<p>おっしゃる通り、バリューエンジニアリングのお話になります。今回、要求水準書として纏めていくにあたつては、まず見積り用の要求水準書と入札用の要求水準書の2段階で作成していきますが、</p>

	<p>要求水準っていうのは基本的に事業者が履行すべき最低水準を記載することになっております。1度入札で公表してしまうとそれを下回るようなことはできず、たとえそれが市や事業者双方にコストメリットがあるような場合だとしても、なかなか入札の手続き上、変更することは難しい面があります。そういったことから、今回基幹改良工事を実施し8年間の運用がきちんとできれば、基本的に門真市様の思いが叶うのではと思っており、まず見積り段階でたたき台として工事の仕様や提案条件についてお示ししたいと思います。もし、事業者側から8年間を運用するにあたり、そこまで大規模な工事やメンテナンス等をしなくても責任持って運営していただけるということであれば、あえて要求水準書に記載してまで、要は事業費を積み増ししてまで工事等を行う必要はないかと思います。また、最近は建設費の高騰っていうのが非常に厳しい状況にあるため、できるだけ入札前の見積り段階で率直な意見をお聞きし、過剰とならない要求水準書の作成をしなければと考えております。</p>
宮井委員	回答は以上です。
水谷委員長	わかりました。
水谷委員長	他いかがでしょうか。何かあればと思いますがよろしいですか。 (なしとの声あり)
くすのき	そうしましたら、参加資格者である「くすのき」様への質疑はこれで終了したいと思います。ご提案並びに質疑の対応等、ありがとうございました。
水谷委員長	ありがとうございます。 【参加資格者「くすのき」ログアウト】
上野(事務局)	皆様、お疲れ様でございました。当初想定していた時間より、オーバーしましたが、色々と質問できて良かったのではないかと思います。それでは、プレゼンテーションの採点に移りたいと思いますが、事務局より補足説明等あればお願いいいたします。
	それでは、プレゼンテーションの採点及び集計に関する補足説明をさせていただきます。

	<p>まず、採点につきましては、資料4の評価基準の備考欄中ほどにも記載しておりますが、今回はテーマごとに2項目評価をいただくことになっており、委員の皆様の評価点をテーマごとの平均点を小数点第1位まで算出し、各テーマの点数といたします。集計に誤りがあつてはいけませんので、二次審査については後ほど委員の皆様の点数をテーマごとに一覧表にしたものをご確認いただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
	(問題なしとの声あり)
上野(事務局)	<p>それでは、一覧表を最終的にお示しさせていただきます。ただし、審査結果の公表にあたっては合計点のみ公表することとし、委員ごとの点数については公表いたしません。採点が終わりましたら、集計までの間、順次休憩をとっていただけたらと考えております。再開時間につきましては、今が16時26分となっており、採点の集計に30分間いただきたいと思っておりますので、16時55分開始でもよろしいでしょうか。</p>
水谷委員長	<p>16時55分再開ですね。採点結果はエクセルファイルを事務局へお送りするということですね。</p>
上野(事務局)	<p>はい、よろしくお願ひします。</p>
水谷委員長	<p>それでは、それぞれ採点をおこなっていただき、事務局へメール送信等をお願いします。</p>
	<b>【各委員：採点・事務局：集計】</b>
水谷委員長	<p>それでは、予定の時刻となりましたので、委員会を再開したいと思います。プレゼンテーションの採点結果について事務局より報告をお願いいたします。</p>
上野(事務局)	<p>それでは、二次審査の採点結果についてご報告させていただきます。こちらが一覧表の採点結果となりますが、委員の皆様、誤り等がないか今一度ご確認をよろしくお願ひいたします。また、何かここで採点に関し、委員の皆様において意見交換等がございましたらよろしくお願ひいたします。</p>
水谷委員長	<p>ただいまのご報告と画面共有されております一覧表に関して、ま</p>

	ず間違いがないかの確認していただき、確認しておきたい事項ですか、ご質問、ご意見等があればと思いますがいかがでしょうか。
宮井委員	私は特にありません。
水谷委員長	私から 1 点。合計欄が整数となっておりますが、公表あたっては「8.0」と位を揃えていた方が良いと思います。
上野(事務局)	ありがとうございます。修正いたします。
水谷委員長	他に何かいかがでしょうか。結果に関してはよろしいですか。 (問題なしとの声あり)
水谷委員長	それでは、書類審査及び価格審査結果について、一次審査の結果も含めて、事務局よりご説明、ご報告をお願いします。
上野(事務局)	はい。それでは、書類審査及び価格審査結果についてご報告させていただきます。まず、第一次審査である書類審査につきましては、資料 4、別紙 1 の評価基準を基に評価いたしました。  1 つ目、企業の能力及び業務実績についてであります、①基幹的設備改良工事又は②委託期間が 10 年以上の包括管理運営業務(DBO 事業を含む。) の発注支援業務等について元請による業務履行実績(履行中のものを除く。)において同種業務の実績は 3 件以上を有しておりましたが、①の工事及び②の委託の業務を一括して実施した実績は無かったことから、採点結果としては 15 点中 12 点となりました。  2 つ目、主任技術者の能力及び業務実績についてであります、直接雇用関係や資格の能力は有し、②の委託の同種業務実績は 3 件以上を有しておりましたが、①基幹的設備改良工事の業務履行実績は無かったことから採点結果としては、10 点中 6 点という結果になりました。  3 つ目、照査技術者の能力及び業務実績についてであります、直接雇用関係や資格の能力は有しているものの、①工事や②委託に関する同種業務の実績は 1 件も無かったことから、採点結果としては 5 点中 1 点となりました。  4 つ目、担当技術者の能力及び業務実績についてであります、

	<p>2名とも直接雇用関係や資格の能力は有し、①工事や②委託に関する同種業務の実績が3件以上ありましたので、採点結果としては5点中満点の5点×2名の10点となりました。</p> <p>最後に、価格審査についてでありますと、本業務における契約の上限額は税抜きで40,100,000円に対して、見積書の価格は38,000,000円であり、率としましては94.76%でございました。今回は参加資格者が1者のみであることから、参加資格者の最低見積価格と参加資格者毎の見積価格が同額となるため、10点中満点の10点となります。</p> <p>以上の結果から、第一次審査及び第二次審査、価格審査の全ての点数を合計いたしますと100点中78.0点となりました。</p> <p>報告は以上でございます。</p>
水谷委員長	<p>ありがとうございました。全ての審査結果が出ましたけれども、全体を通して何か確認しておきたい事項ですとか、ご質問等はございませんか。</p> <p>(なしとの声あり)</p>
水谷委員長	<p>それでは私から1つ。今回は入札参加者が結局1者だったということですが、彼らは1者だったということをわかっていたのでしょうか。</p>
上野(事務局)	<p>何もお伝えしておりませんので、実際はわかつていなかつたと思いますが、質問が1者分しか無かつたため、そこで気が付いた可能性はあります。</p>
水谷委員長	<p>わかりました。委員の皆様、ご質問等はよろしいでしょうか。それでは、受注候補者の選定について、改めて事務局より報告お願いいたします。</p>
松岡(事務局)	<p>それでは、報告させていただきます。集計の結果100点満点中、合計点が78.0点で、満点の6割を満たしているため、参加資格者「くすのき」と、パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社様を受注候補者として、今後、契約手続きを進めさせていただきます。結果につきましては、本市ホームページにおいて審査講評を公</p>

	表させていただきますので、よろしくお願ひいたします。 以上です。
水谷委員長	この件につきましてご質問等はありませんか。 (なしとの声あり)
水谷委員長	ご質問等も無いようですので、本日の議事については終了したいと思います。委員の皆様には、会議の円滑な進行にご協力をいただき、ありがとうございました。それでは、司会を事務局にお返ししたいと思います。
松岡(事務局)	ありがとうございました。最後にその他としましてご報告がございます。まず、議事録についてであります、議事録の確認につきましては、前回同様、委員長にお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。 (異議なしとの声あり)
水谷委員長	承知いたしました。
松岡(事務局)	ありがとうございます。次回の第3回事業者選定委員会の開催日程につきましては、7月1日を予定しております。お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願ひいたします。 それでは、本日の議事は以上でございます。これをもちまして、第2回事業者選定委員会を閉会させていただきたいと思います。長時間にわたり、誠にありがとうございました。